

みんなとともに笑顔いっぱい — 「101」 新たなるステージへ —



# みんなとともに



昨年度の音楽集会で、1年生が「パプリカ」の音楽に合わせてダンスを披露しました。そのころは「パプリカ」を知らなかったのですが、とてもかわいらしく感じて、どこかで保護者の方にも見ていただきたいなと思っていました。実は、24日（土）に行われる「清明フェスティバル」の「下学年の部」でご覧いただけそうです。10日前の予報では当日は「晴れ」。天気はきっと大丈夫でしょう。



## 「清明スタンダード」とは

最近、「本校独自の取り組み」を「清明スタンダード」と名付けて紹介をしています。この取り組みは、新学習指導要領が今年度から全面実施になることに合わせて改革してきたもので、「本校らしさ」を追究した結果とも言えます。

私たちがこれまで経験してきた学校生活とは異なる部分も多く、違和感を感じる面もあるかと思いますが子どもたちは順応しているように思います。この「清明スタンダード」を基本に据えながら、「子どもたちの健やかな成長」に寄与していきたいと考えています。

### 【「清明スタンダード」を基盤とした学校経営 — 「子どもと向き合う」ために—】

#### I 「日課表（午前5校時）」の効果を生かす。

- 上学年の「毎日6校時代」に対応するため、集中できる午前中に5校時を行い、下校時刻を早めている。また、早めの下校となる下学年には、「いまここ学習室」という自学の場を用意している。
  - ・ 午前の時間を増やすため、登校を「午前8時」とし、休み時間を「5分」にしている。また、給食の開始時刻を「12時30分」としている。

#### II 「少人数指導」の効果を生かす。

- 「少人数学級（2学級各1担任）、少人数指導（1学級2担任）」を選択できる学年（1年 2年 5年）において「少人数指導（1学級2担任）」を選択している。このことで、「学年は一つ」を実現するとともに、「複数担任のよさ」を指導に生かしたり、「一部教科担任制（他学年の指導）」や「事務時間の軽減」等に取り組んだりしている。
  - ・ 4月段階での1学級の人数は、1年32名、2年33名、5年35名である。「少人数学級」を選択した場合は、1年は16人と16人、2年は17人と16人、5年は18人と17人の2学級編制となる。このコロナ禍で密を避けるためには、「2学級の方がよい」という考え方もある。

#### III 「通信票年2回制」の効果を生かす。

- 学期末テスト等の実施を含め通信票関係事務にかかる「繁忙期」を年2回にすることにより、学期末（特に、7月、12月）にも十分に子どもたちに向き合うことができるようにしている。
  - ・ 教科書やドリル等も、基本は学期制でできているので、ズレが生じることもある。夏休みに祖父母に通信票を見せられないことを残念に思う方もいるであろう。

### 【校長のつぶやき】 その46 「校長がお似合い!?!」

その男の子は、自主学習もがんばる子だった。臨時休校中に推奨した「NHK for school」の理科の映像を見てはその感想を書いたり、自分で購入した算数科のプリントにも取り組んだりしていた。あるとき、廊下ですれ違った際に、「将来の夢ってあるの?」と聞いてみた。その子は躊躇なく「医者です」と答えた。それを聞いた私は、「君なら絶対になれるよ」と心の中でつぶやいた。今度は「なぜ医者になりたいのか」を聞いてみたいと思う。

また、別な日に、昇降口前で並んでいたある女の子に「将来何になりたいの?」と聞いた。その子の答えは、「穂波先生のような優しい保健の先生になりたいです」であった。ちなみに穂波先生とは、本校の養護教諭である。続けて、「お姉ちゃんは看護師志望だが、私は注射を打つのがいやなので、保健の先生になりたいです」とのことであった。

「自分の夢」を即座に答える子どもに接し、私は自分が恥ずかしくなった。行き当たりばったりで生きてきたし、小学校の教師になろうと思ったのも、受験を控えた高校3年のときだった。そんなことを話していたら、突然その女の子が言った。「校長先生は、校長先生がお似合いだと思います」たぶんフォローしてくれたのだろう。うれしい気持ちとともに、なぜか余計に恥ずかしくなった自分がいた。